

「好奇心」

いつも何か新しいことを経験したい。そういう好奇心を持つと毎日が楽しくなる。無謀だと人から言われても、自分なりのやり方で試験的にやってみる。考えてばかりいなくて、恐れず挑戦する。そういう能動的な態度で行動しているうちに新しい発想が湧いてくる。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

へチマが子どもたちの背丈を越え、黄色い花が空に向かい咲き虫たちが密を吸いに集まってきました。「この虫なあに?」「大きなアリと小さなアリがいるよ」と目を輝かせながら虫の動きに夢中になったり、「葉っぱに穴があいてるよ」「花がお星さまみたい」と葉っぱや花に触れています。乳児から始まる探索行動は知らない物事に対し興味を示し、確かめながら知ろうとする行動です。指差しをしたり確認行動を繰り返しながら、身近な人との安心感を持った環境下で自分の世界を広げています。心揺さぶられる直接体験の中で、新たな思いや疑問が生まれ、探究心が膨らみまた今までの経験や自分なりの発見や気づき、考え試したりする体験は豊かな感性や創造力の芽生えを育てていきます。その第一歩を踏み出せる力が好奇心であり、主体的な学びや行動力への原動力になるのだと思います。子どもたちにとって周囲のあらゆるものが好奇心や探究心の対象です。

日常の中での一人ひとりの面白い、不思議だな、何だろう、もっと知りたい、やってみたいと思う気持ちを大切にしながら育ちを支えていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
職員一同

8月聖句

憐れみ深い人々は、幸いである。その人たちは憐れみを受ける。

マタイによる福音書 5章7節

8月主題

「ゆったりと」0歳

1・2歳

- ・神さまやまわりの人に守られ、愛されていることを感じる。
- ・ゆったりと過ごす。
- ・沐浴や水遊びで汗を流すなど暑さや感染症への配慮の中、健康に過ごす。
- ・神さまや周りの人に守られ、愛されていることを感じる。
- ・家族や保育者とゆったりとした時間を過ごし、心を満たす。
- ・暑さや感染症から守られ、健康に過ごす。

～子どもたちの姿～

雲一つない青空と賑やかな蝉の声に、夏本番を感じます。子どもたちはペットボトルを用いた雨水スライダーにテープで模様を付けました。色ごとに並べたり交互に色を貼ったりと個性豊かな様子が見られました。また、貯水ガードは「アリさんが遊びに来たよ」と線を引くことで、線を意識しながら貼ることが出来ました。小さい友達に「ここに貼ってね」と教えてあげたり、「あんまり急いでごっつんこ〜」と歌いながら楽しそうに貼る姿がとても印象的でした。

8月になり、新型コロナ感染症発症者が山梨県内も急増しています。今まで以上に予防に努め、健康にすごせるよう配慮していきたいと思っています。引き続き、保護者の皆様もご協力をお願いします。



【8月の讚美歌】

きよいあさあけて

【8月のうた】

みずあそび
ひまわり
おもちゃのマーチ



	月	火	水	木	金	土	日
8月の予定表							1
	2	3	4	5	6 身体測定	7	8 山の日
	9 振替休日	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20 避難訓練	21	22
	23	24	25	26	27 誕生日会	28	29
	30	31 クレイシュ通信					

◎熱中症アラート発令の際には戸外には出ず室内の活動のみになりますのでご承知ください。
◎汗をかきやすい時期になりますので、汗拭きタオルの持参をお願いいたします。